



自治連だより

第11号



教訓を 肝に銘じて

会長 池原 範雄

東日本大地震による被災地への支援につきましては、皆様のご尽力により、相当額の義援金が寄せられ、今更ながら善意の有り難さを感じ入っております。

過日、日本赤十字社鳥取県支部へ寄託しましたが、この善意の義援金は、必ずや被災地の方々に自信と勇気を与え、復興の大きな力になるものと確信するところでず。

今回の原発事故は、「大自然への無謀な挑戦が招いた人災であり天災である」

と報じていますが、肝に銘じたいものであります。

また、先達て国は浜岡（静岡）原発を停止しましたが、「停止させたのは国ではなく、地域住民の力である」とも報じています。

ともあれ、このような困難とも言われる事態の中にあつては、尚のこと、住民自治の力が高度に求められているように思えてなりません。



平成二十三年度 定期総会

鳥取市自治連合会は、平成二十三年五月十三日午後一時三十分からとりぎん文化会館小ホールにおいて、町内会長約二百四十名の出席のもと、平成二十三年定期総会を開催いたしました。総会に先立ち、研修会では、鳥取県文化観光局観光政策課、山陰海岸ジオパーク推進室専門員 安藤和也氏から「山陰海岸ジオ

パークの魅力」をテーマに、大変わかりやすくお話ししていただきました。

総会では、池原会長がいさつを述べた後、長年町内会活動に功績のあつた六十九名に対し、竹内鳥取市長、池原会長からそれぞれ感謝状と記念品が贈呈されました。

続いて、竹内市長及び中西鳥取市議会議長から祝辞をいただき、大塚農林水産部長、宇山鳥取砂丘・ジオパーク推進室長よりそれぞれ「全国豊かな海づくり大会」

「山陰海岸ジオパークの取り組み」について説明を受けました。

次いで、議案の審議に入り、以下の議案が承認されました。

- ・平成二十二年度事業報告及び収支決算報告、監査報告
- ・平成二十三年度事業計画（案）及び収支予算（案）
- ・役員改選は第二回地区会長会に委任



六月三日開催の第二回地区会長会において、次のとおり新役員を選出、承認されました。

会長	池原 範雄
副会長	大久保 良隆
副会長	山田 建雄
副会長	房安 一也
副会長	渡邊 勤治郎
副会長	廣田 哲夫
監事	大西 隆秀
監事	南部 敏
監事	今川 登



作品展

また、地元でとれた野菜や果物、手作りのおこわも格安で販売されており、来場者に喜ばれています。

地区公民館内での作品展では、自慢の農作物や盆栽が多数出品され、見事な出来栄えに来場者もじっと見入っておられます。

保育園児、小・中学生、美和あすなろ入所者の作品の他、サークル活動や個人で製作された大作の

手芸作品も多く出品され見ごたえがあります。

また、同日開催される体育会主催の地区一周駅伝大会でさらに盛り上がりを見せます。

このように、老若男女が集う地区文化祭は、大和地区の良さを再認識する機会であり、楽しく住民の方が参加できる行事となっています。

今後もさらに魅力のある、そして安心、安全に暮らせる大和地区になるよう、自治活動に取り組んでいきたいと思っています。

時代の変遷により数度断ち切れていたものを、平成六年に「中大路だるま踊り保存会」を結成し、村の将来を担う若者層を順次引き込んで、納涼祭や敬老会等、地区内外の各種イベント等の出演を引き受け、そのひょうきんな仕草が「これは面白い踊り！」と各方面から好評をいただいています。

大和地区

住民が楽しく集う
地区文化祭

大和地区
会長 中村克彦

大和地区は千代川に面し、亀井公が切り拓いた灌漑用水大井手川の恵みを受けた、わずか四キロメートルの間に七集落が点在する豊かな田園地帯です。往古より自然に恵まれた立地条件で、農作物作りに適しています。

平成二十年十一月に「まちづくり協議会」を立ち上げ、住民アンケートを基に、大和地区の文化遺産の再認識を軸にして、まちづくり計画を進めています。

毎年十一月に開催する地区文化祭は、各集落の区長が中心となって、準備、運営をしている地区最大の行事です。

無料で振舞われるつきたの餅や具、たくさん豚汁は大変好評です。



お楽しみコーナー

米里地区中大路

だるま踊りで
活性化

中大路
野田克也

鳥取駅より南側へ約二キロに位置する大路山の麓に、米里地区の中大路三十九戸があり、市街地が隣接している中で、のどかな田園風景が今も残されている地域です。

さて、中大路も他と同様に少子高齢化が進んでおり、今後の村づくりが心配されるものの、ここ中大路には明治の終わりに始まった「だるま踊り」があります。

2012年4月の公立化に向けて
動き始めています。



鳥取環境大学

環境学部／経営学部開設（届出中）
公立大学法人化（計画中）

〒689-1111 鳥取県鳥取市若葉台北一丁目1番1号
TEL0857-38-6720 FAX 0857-38-6729
URL: http://www.kankyo-u.ac.jp
E-mail: nyushi@kankyo-u.ac.jp



旅はJA旅行センターへおまかせください!!
JAはどなたでもご利用できます。

- 航空券の手配
- JR・私鉄各社きっぷの手配
- フェリー・バスの乗車券の手配
- バック旅行・団体旅行の手配

※JAならではの地場産農畜産物と国産にこだわった宿泊プラン『こだわりの宿』の手配!

※お電話1本で予約OK、1枚の切符からお届けします!

【お申込・お問合せは】 ㈱農協観光代理業
JA鳥取いなば旅行センター 鳥取市湖山町5丁目261
TEL 0857-32-1161



だるま踊り

だるまは七体あり、減員となっていた踊り手も二年前に四人の若者が加わり、七体を使用して踊ることができ、しかも皆子どもの頃から踊りに親しんで育ち、親子二代で踊っている者もいます。

この保存会活動を通じ、世代を越えての交流が今の中大路には出来上がっており、この繋がりが真実の「しげ興し」ではないかと感じ、今後も踊りを守って行きたいと思っています。なお、地元よねざと保育園でも園児による「だるま踊り」に取り組みられています。

平成23年度 先進地研修視察



協働のまちづくり等に積極的に取り組んでいる先進地として宝塚市自治会連合会を選定し、今後の地域コミュニティの一層の充実に資する目的で実施された研修視察意見交換会が、去る七月七日(木)午後一時三十分から、宝塚市役所会議室で開催されました。

意見交換会には、鳥取市自治連合会池原範雄会長を始め三十名の地区会長(代理六名を含む)と事務局二名が参加し、宝塚市自治会連合会では、尾崎久会長ほか六名の副会長と、事務局の市民交流部次長ほか二名の市職員が出席され、宝塚市のブロック化の経緯、未加入自治会の扱い、まちづくり連絡会議及び地区公民館との関係などについての質疑応答が、活発に交わされました。

宝塚市の人口は約二十二万六千人、鳥取市の約八分の一の面積に本市以上の市民が居住し、高層ビルが立ち並ぶ都市型の市です。昭和三十年に市政が敷かれ、当時は旧町村の村落コミュニティ活動が中心でしたが、急激な都市化・人口増等により大きく変容し、昭和六十年代には、市民の間に新たなコミュニティ施策を期待する声が高まり、これらの市民ニーズに対応するため、宝塚市では平成五年にコミュニティ課を設置し、他県・他市にさきがけて、本格的コミュニティ施策の取り組みに着手された先進都市です。

新たな組織づくりは、従来の自治会組織を基盤とした単位自治会二一〇(小エリア・約二〜三百世帯)、二十四の小学校校区を単位とした二十のまちづくり協議会(中エリア・1km四方、約一万人、各自治会連絡協議会を設置)を平成十一年に設置し、七つの生活完結圏ブロック(大エリア・約三〜四万人のエリアでそれぞれに地区自治会連合会を設置)を設置し、次代を見据えた先進的な活動を展開されています。



鹿野町湯川住宅団地

木の香る「エコ住宅」 モデル住宅展示中



鹿野町湯川住宅団地 モデル住宅展示場紹介

湯川住宅団地内に、家族のこと、環境のことを考えた「木の香るエコ住宅」が完成し展示公開中です。緑豊かな鹿野町に調和した木造建築の家々を実際に見て触れてお確かめ下さい。住宅団地の情報は、公社ホームページをご覧ください。見学をご希望の方は下記までお気軽にお電話下さい。みなさまのお越しをスタッフ一同お待ちしております。

湯川住宅団地も好評分譲中です。(温泉給湯可能)
1区画・平均 280㎡ 3.3㎡ 105,000円

お問い合わせ先 財団法人鳥取開発公社
〒680-0022 鳥取市西町2丁目311番地
TEL 0857-22-4742 FAX 0857-21-8074
URL <http://tottori-kk.or.jp>

津ノ井地区

住みよい

地域づくり

津ノ井地区
会長 福田 一正



「住みよい村」をと先人たちの思いを込めて、昭和の終わりに津ノ井ニュータウン「若葉台」、南栄工業団地が相次いで完成し、津ノ井地区の誇れる歴史を刻みました。

次に我々が取り組む課題として、地区のシンボル「空山」の環境整備を考えています。津ノ井小学校校歌の一節に津ノ井地区の象徴と謳われる空山は、山頂に登るまで約二時

間、空山公園にたどりつき、汗を拭きながら一休み。桜の木の下での森林浴、振り向いて見ると前方右に若葉台の家並みが所狭しと並び、少し左に目をやると環境大学が見えます。

空山公園を少し離れ、高台に登り上を眺めると、環境に優しい風力発電、鳥風、梨風、空風の三機が雲の下で回っています。向きを変えると鳥取市街地が一望でき、市内はもとより千代川の川筋を目で追いながら日本海へ流れて行く川並も良いものです。この風景を見ながら楽しめる「憩いの散策コース」の整備に取り組みたいと思っています。

津ノ井地区のスローガンとして、「活気のある津ノ井」「にぎわいのある津ノ井」「心のかよう津ノ井」を設定し、それぞれの役割で公民館を中心に目標達成に向かって取り組んでいます。津ノ井の多くの地区民と、少しでもより良い村づくりを目指し、「活気にぎわい、心かよう」活動と



4/28 津ノ井小学校創立記念日での空山遠足のひとコマ

して、自治会の三大事業である「戦没者慰霊祭、敬老会、運動会」を中心に地区が一丸となつて頑張つてまいりたいと思っています。

編集後記

東日本大震災は、想定外という概念の払拭と、生活の拠点「地域コミュニティ」が如何に重要であるかを深く認識させてくれました。地域コミュニティの中核である地区自治会、その活動情報の公開は、連絡事項が主流の諸会議の中にあつて、紙面を通じた有効な情報交換手段であると思っています。

本会の充実発展への繋がりを目的とする「自治連だより」は、関係各位のご協力により満六年を迎え、地区情報もほぼ一巡しました。その間、玉稿をお寄せくださった各位に深く感謝を申し上げます、変わらぬご協力をお願いいたします。

東日本大震災に対する募金 ご協力ありがとうございました！

鳥取市自治連合会は、6月2日、42地区834町内会の皆さまから寄せられた善意の義援金 43,279,454円を日本赤十字社鳥取県支部に寄託しました。

この度の義援金の取り組みに、ご尽力をいただきました皆さまに、厚くお礼申し上げます。

被災地の一刻も早い復興をお祈りいたします。



泌尿器科・内科・腎臓内科・透析
医療法人

さとに田園クリニック

診療時間 午前9:00～午後6:30 (透析は個別対応)

休診日 〔外来〕日曜、祝日、年末年始(12/30～1/3)
〔透析〕日曜のみ

鳥取市里仁54-2 ☎30-1515

観光・宿泊のご案内は

鳥取市観光案内所

鳥取市東品治町117 (JR鳥取駅構内)

業務時間 9:30～18:30 〔休〕12/31、1/1

電話 0857-22-3318